

いつも大変お世話になっています。

### ブリュッセル・フォーラムに参加

先月の21日から23日まで、ブリュッセルに出張していました。「ブリュッセル・フォーラム」という国際会議に出席するためです。

ここは、欧米の政治家、官僚、財界人、学者などが一同に会して、国際問題を論じるところです。アジアからも、日本、中国、韓国よりそれぞれ代表が参加しています。

一番、盛り上がった話題は、ロシアがクリミアを併合したことでした。プーチン大統領のあからさまな行動に対し、「ふたたび冷戦時代に戻った」といった危機感があふれていました。ただ、具体的に「欧米がはたして軍事行動までとれるのか」という、ためらいの本音も聞かれました。米国も欧州も、経済力がいまだに本格的に回復をしていない。欧州はもとより、米国までも、国民はまずは失業問題などで内向きになっている。こうした状況の中で、経済制裁くらいならやれるが、軍事行動まではとれないということでした。

しかし、実際に、経済制裁だけでは、ロシアの行動を止められないのは、誰しもが思っています。だからこそ、焦りが出るのでしょう。とくに、米国にしてみれば、中国の南シナ海・東シナ海に対する海洋進出、中近東における

シリアやイランの不安要因にくわえて、さらにロシアとなれば、たまったものではない。

私からは「アジアでも、ロシアほど露骨にではないが、中国が日本の近海で膨張主義的な行動をとっている」と発言しました。「欧米と日本が今の平和と秩序を一緒に守らなければいけない」とも訴えました。

### 新しい局面で、日本は諸外国と連携を

世界は、今回の件で、新しい局面に入りました。ロシアは、欧米にとっては伝統的な競争相手です。これに対する対抗意識は、日本人には、なかなか分かりにくい。しかし、我が国の利益を考えれば、ロシアや中国のように、武力でもって自分たちの言い分を通そうとする勢力には、結束して対抗する必要があります。

こうした情勢変化を肌身で感じる会議でした。

これからの難しい時代で、我が国は、利益を共有する国々と連携を強化することが大事です。一国だけ孤立したら負けです。

私も、こうした外交を少しでも推進できるように、再度、国政に挑戦をします。これからもご支援賜りますよう、宜しく申し上げます